

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		111-01-01			
事務事業名		都市計画審議会運営事務事業		事務の種類			
				自治事務(義務的なもの)			
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先			
				内線2571			
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	1	調和のとれた土地利用の推進		項	4	都市計画費
					目	4	都市整備推進費
対象(誰を・何を)		羽曳野市都市計画審議会					
目的(どうしたいか)		適正かつ円滑に運営する。					
手段(事業内容)		都市計画の決定・変更にかかる案件を審議会に付議又は諮問し、審議会の議決、意見を求める。(委員総数18名)					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	101	189	345
人件費	2,645	2,277	2,249
総事業費	2,746	2,466	2,594
うち市負担分	2,746	2,466	2,594

元年度決算主な内訳
【事業費】 都市計画審議会委員報酬: 189千円 (内訳) 学識経験者 20千円×7名 その他の委員 7千円×7名
【特定財源】

活動指標

指標名	審議会開催回数	単位	回
指標の説明	一年間に開催した回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1	2	3

成果指標

指標名	議決率	単位	%
指標の説明	議決件数÷議案数×100		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

参考数値
令和元年度 開催数 2回 委員延べ 31名
令和2年度(見込み) 開催数 3回 委員延べ 54名(18名×3回)

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 都市計画審議会の設置は都市計画法に規定されており、本事業は審議会運営のために必要不可欠な事務であり、今後も適正かつ円滑な審議会運営に努める。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		111-01-03		
事務事業名		生産緑地関連事務事業		事務の種類		
				自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先		
				内線2571		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	
	施策	1	土地利用・市街地整備		1	一般会計
	施策の方向	1	調和のとれた土地利用の推進		8	土木費
					4	都市計画費
対象(誰を・何を)		生産緑地				
目的(どうしたいか)		公共事業用地、及び市街化区域内の緑地として、農地の適正な保全を図ることにより、良好な都市環境を形成する。				
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> ・買取申出等がなされた生産緑地についての事務処理 ・生産緑地の解除・変更に伴う都市計画変更等の手続き 				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	3,401	3,795	6,640
総事業費	3,401	3,795	6,640
うち市負担分	3,401	3,795	6,640

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	買取申出件数	単位	件
指標の説明	一年間に買取申出のあった件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	12	1	1

参考数値
令和元年度 生産緑地の買取申出 1件

成果指標

指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	買取申出に係る適正な事務処理(処理数÷申出件数×100)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 生産緑地法に基づき、事務が適正に管理されている。市街化区域内の農地は減少傾向にあるが、所在する地域については、その緑地機能を確保しつつ、都市農業と調和した良好な住環境の形成を図っていると考える。又、今後当初指定から30年が到来する生産緑地に対して、令和2年4月より特定生産緑地の指定同意書の受付け等を行っており、当事務についても適正な処理を進めていく。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		112-01-01		
事務事業名		都市計画関連証明等発行事務事業		事務の種類		
				自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先		
				内線2571		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	
	施策	1	土地利用・市街地整備		1	一般会計
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		8	土木費
					4	都市計画費
対象(誰を・何を)		市民及び事業者				
目的(どうしたいか)		必要とする情報を提供する。				
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画法に基づく区域区分や地域地区等の証明の交付の求めを受け証明書を発行 都市計画図等の一般販売 各種証明書(1件200円)地形図(1枚500円)都市計画図(1枚1000円)都市計画マスタープラン(1冊1700円)等 				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	680	759	613
総事業費	680	759	613
うち市負担分	618	720	563

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】 手数料・売払金:39千円

活動指標

指標名	区域区分等証明件数	単位	件
指標の説明	一年間に申請のあった件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	19	21	16

参考数値
令和元年度 証明書 21件 地形図等 56枚
令和2年度(見込み) 証明書16件など 手数料・売払金:50千円

成果指標

指標名	適正処理件数	単位	件
指標の説明	必要とする情報を適切に処理できた件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	19	21	16

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 適正に事務が執行できている。各種証明書の発行については、正確性を確保し、より迅速かつ効率的に遂行する。又、課題であった市のホームページ上での用途図の閲覧については、現在ホームページ上に掲載しており、閲覧可能となっている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		112-01-02	
事務事業名		航空写真測量事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先 内線2571	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款 8 土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		項 4 都市計画費
					目 4 都市整備推進費
対象(誰を・何を)		羽曳野市全域			
目的(どうしたいか)		現在の土地利用状況を正確に把握する。			
手段(事業内容)		毎年の土地利用状況の変化を確認するため、市域全域の航空写真撮影を行い、航空写真図及びデジタルオルソ画像を作成する。作成した航空写真は、固定資産税の課税対象となる家屋・土地の賦課における状況確認にも活用している。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	4,320	4,554	5,554
人件費	1,134	1,138	1,124
総事業費	5,454	5,692	6,678
うち市負担分	5,454	5,692	6,678

元年度決算主な内訳
【事業費】 航空写真測量委託料: 4,554千円
【特定財源】

活動指標

指標名	写真撮影回数	単位	回
指標の説明	一年間に撮影を行う回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1	1	1

参考数値
羽曳野市航空写真測量委託業務 羽曳野市全域 (26.45ha)

成果指標

指標名	現況把握率	単位	%
指標の説明	現在の土地利用の状況が把握できたかどうか		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 土地利用状況の変化の把握及び固定資産税の課税(家屋・土地)の正確な把握には必要不可欠な業務である。現在成果については、税務課と共有しており、今後も正確な現況把握に努めるとともに、競争入札を徹底することによりコスト削減に努める。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	112-01-03		
事務事業名		屋外広告物許可等事務事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)
担当部署名		都市開発部 都市計画課			連絡先		内線2571
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備			款	8 土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成			項	4 都市計画費
						目	4 都市整備推進費
対象(誰を・何を)		広告物を表示・設置しようとする事業者、市民等					
目的(どうしたいか)		大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の申請手続き等の適正な管理を進めることにより、良好な景観の形成や風致を維持するとともに、屋外広告物の安全管理に努める。					
手段(事業内容)		平成25年1月に大阪府より権限移譲を受け、事務処理を行う。 (申請書受理) (手数料納入確認) (審査) (許可書、許可証の交付)					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	2,419	2,656	2,691
総事業費	2,419	2,656	2,691
うち市負担分	1,461	1,547	1,702

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】 審査手数料: 1,109千円

活動指標

指標名	申請件数	単位	件
指標の説明	一年間に申請のあった件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	89	100	80

参考数値
令和元年度 許可審査 100件
令和2年度(見込み) 許可審査 80件 989千円

成果指標

指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	申請に係る適正な事務処理		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 申請内容の審査は正確性を確保し、より迅速かつ効率的に許可書・許可証の発行を行う。 又、屋外広告物の届出制度の啓発に努め、屋外広告物の適正化に取り組む。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	112-01-04				
事務事業名		屋外広告物適正化補助事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先	内線2571		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		項	4	都市計画費
					目	4	都市整備推進費
対象(誰を・何を)		広告物を表示・設置しようとする事業者、市民等					
目的(どうしたいか)		古市古墳群の古墳周辺区域において、地域にふさわしい屋外広告物の掲出を促進し、良好な景観の形成を図る。					
手段(事業内容)		平成30年4月に羽曳野市屋外広告物適正化促進事業補助金交付要綱を制定し、古墳周辺区域の基準に適合しない屋外広告物の撤去又は改修にかかる費用の一部に対して補助金を交付する。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	2,200	1,761	
人件費	2,645	1,518	
総事業費	4,845	3,279	0
うち市負担分	4,113	2,693	

元年度決算主な内訳
【事業費】 適正化補助金: 1,761千円
【特定財源】 大阪府補助金: 586千円

活動指標

指標名	申請件数	単位	件
指標の説明	一年間に申請のあった件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	3	

参考数値

成果指標

指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	申請に係る適正な処理		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 古市古墳群周辺の景観を守るため、羽曳野市屋外広告物適正化促進事業補助金交付要綱に基づき既存不適格である屋外広告物の適正化を一定図ってきた。 事業は終了したが、今後も引き続き大阪府と連携し世界文化遺産である古市古墳群周辺の屋外広告物の適正化に取り組む。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	112-02-01				
事務事業名		地区計画にかかる運用・調整事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先	内線2571		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		項	4	都市計画費
					目	4	都市整備推進費
対象(誰を・何を)		羽曳野市全域					
目的(どうしたいか)		区域の特性にふさわしい街並みを計画的に誘導する。					
手段(事業内容)		まちづくりの基本的な方針を示した都市計画マスタープランを着実に推進し、計画的にまちづくりを進めて行くために地区計画制度を活用する。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	7,785	7,589	5,622
総事業費	7,785	7,589	5,622
うち市負担分	7,785	7,589	5,622

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	事前相談件数	単位	件
指標の説明	事前に相談があった件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	1	1

成果指標

指標名	都市計画決定(変更)件数	単位	件
指標の説明	地区計画の決定(変更)を行った件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	3	0

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 地域住民の合意のもとで地区毎の特性に応じたきめ細かい計画により、特色ある住みよいまちづくりを促進するとともに、本制度を活用してまちの活性化につなげる。 近年において、地区計画の問い合わせが増加しているため、事務のマニュアル化等、適正な事務処理を進める。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	112-03-01		
事務事業名		建築確認・指導等事務事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)
担当部署名		都市開発部 建築指導課			連絡先		内線2560
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備			款	8 土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成			項	4 都市計画費
						目	4 都市整備推進費
対象(誰を・何を)		建築物の建築等の行為(建築主、設計者、工事監理者等・申請手続き等建築基準法の遵守)					
目的(どうしたいか)		建築基準法及び関係法令等の規制を以って、良好な建築物及び街区環境の整備に資することを目的とする。					
手段(事業内容)		指定確認検査機関からの事前調査制度(確認経由業務)を以って、関係法令の規制などの調査を行い、計画建物等の違反の未然防止や指導を行う。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,608	1,246	1,476
人件費	22,674	22,767	22,488
総事業費	24,282	24,013	23,964
うち市負担分	21,972	21,445	21,103

元年度決算主な内訳
【事業費】 一般事務費292千円 0A経費744千円 負担金210千円
【特定財源】 手数料2512千円 府補助金56千円

活動指標

指標名	確認経由件数	単位	件
指標の説明	市内での建築等の行為に係る件数を把握できる		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	455	505	500

参考数値
完了検査数 (民間機関検査数含) H30:392件 R01:425件

成果指標

指標名	市内完了検査済証交付率	単位	%
指標の説明	建築確認申請通りに工事施工が行われたことを確認する		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	91.4	91.0	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 法律適合の基礎資料収集及び検査機関への監督効果として必要な業務であるため、現状維持とする。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	112-03-02				
事務事業名		建築審査会運営事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		都市開発部 建築指導課		連絡先	内線2560		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		項	4	都市計画費
					目	4	都市整備推進費
対象(誰を・何を)		建築基準法の施行に関する重要事項の調査審議を必要とする案件の土地及び建築物の所有者					
目的(どうしたいか)		建築審査会は建築基準法第78条に規定される特定行政庁から諮問に応じて建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議する機関であり、案件等が発生した場合に必要なに応じて開催され、重要事項の判断をすることを目的とする。					
手段(事業内容)		当市における建築審査会は7名の委員で構成され、重要事項の判断は出席者の過半の賛成を以って同意される。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	855	323	1,249
人件費	15,116	15,178	14,992
総事業費	15,971	15,501	16,241
うち市負担分	15,971	15,501	16,241

元年度決算主な内訳
【事業費】 一般事務費219千円 審査会事務費41千円 負担金63千円
【特定財源】

活動指標

指標名	審査会開催回数	単位	件
指標の説明	建築審査会に諮問する案件が出た場合に開催		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	4	0	6

参考数値

成果指標

指標名	個別許可の審査件数	単位	件
指標の説明	建築審査会で同意された個別許可案件の件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	3	0	3

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 法律適合の判断を求めると必要な業務であるため、現状維持とする。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		112-03-03	
事務事業名		開発許可・指導等事務事業		事務の種類	
担当部署名		都市開発部 建築指導課		自治事務(義務的なもの)	
総合基本計画				連絡先	
施策目標		1 快適でうるおいのある住みよいまち		内線2560	
施策		1 土地利用・市街地整備		会計	
施策の方向		2 良好な市街地の形成		1 一般会計	
				款	
				8 土木費	
				項	
				4 都市計画費	
				目	
				4 都市整備推進費	
対象(誰を・何を)		開発行為等を行うとする事業者等			
目的(どうしたいか)		良好な都市環境の形成と秩序ある都市機能の整備を促進するため、一定の基準をもって都市計画法令を遵守するよう指導することにより、良好な生活環境の形成を図ることを目的とする			
手段(事業内容)		都市計画法令及び開発指導要綱に関する基準等を定め、それらを遵守するよう指導及び啓発に努める			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	391	229	270
人件費	20,407	19,731	19,490
総事業費	20,798	19,960	19,760
うち市負担分	15,854	16,030	15,739

元年度決算主な内訳
【事業費】 一般事務費219千円 負担金10千円
【特定財源】 府事務交付金78千円 手数料3852千円

活動指標

指標名	開発許可件数	単位	件
指標の説明	一定条件以上の土地利用の件数を把握できる		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	27	45	50

参考数値
完了検査数 H30: 18件 R01: 23件

成果指標

指標名	検査済証交付率	単位	%
指標の説明	開発許可どおり工事施工が行われたことを確認できる		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 法律適合を判断するために必要な業務であるため、現状維持とする。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	113-01-01			
事務事業名		古市駅西駐車場管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先	内線2571	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8 土木費
	施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		項	4 都市計画費
					目	4 都市整備推進費
対象(誰を・何を)		近鉄古市駅周辺で自動車を駐車したい人				
目的(どうしたいか)		駐車場を利用しやすい環境に整え、キスアンドライド交通やパークアンドライド交通の推進を目的として、路上駐車を解消し、歩行者の交通安全を図る。				
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の日常清掃管理 ・市営古市駅西駐車場の管理運営 収容台数(時間貸し23台、月極め23台) 				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	2,847	3,047	3,294
人件費	1,360	1,518	1,499
総事業費	4,207	4,565	4,793
うち市負担分	-6,888	-5,498	-6,238

元年度決算主な内訳
【事業費】 委託料: 224千円 需用費: 750千円 機器借上げ料: 2,073千円 【特定財源】 使用料: 10,063千円

活動指標

指標名	駐車可能台数	単位	台
指標の説明	時間貸しの駐車可能な台数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	23	23	23

参考数値
令和元年度 時間貸し 有料 17,238台 無料 77,283台 月極め 駐車可能台数 23台 令和2年度(見込み) 使用料 11,031千円

成果指標

指標名	駐車場使用台数	単位	台
指標の説明	一年間の駐車場の使用台数(有料・無料)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	75,035	94,521	94,521

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 年間の使用台数から市民ニーズは高いと思われ、また時間貸しにおいて20分以内の無料利用台数が平成30年度・令和元年度においても7割を超えており、本来の目的である送迎の用等にも供されていると考えられる。今後も、古市駅周辺における交通渋滞解消の一助として、効率的かつ適切な維持管理を行う。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	113-01-02				
事務事業名		古市駅東駐車場管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先	内線2571		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		項	4	都市計画費
					目	4	都市整備推進費
対象(誰を・何を)		近鉄古市駅周辺で自動車を駐車したい人					
目的(どうしたいか)		駐車場を利用しやすい環境に整え、キスアンドライド交通やパークアンドライド交通の推進を目的として、路上駐車を解消し、歩行者の交通安全を図る。					
手段(事業内容)		市営古市駅東駐車場の管理運営 収容台数(時間貸し15台)					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,705	1,612	1,773
人件費	227	228	225
総事業費	1,932	1,840	1,998
うち市負担分	-1,872	-1,788	-1,702

元年度決算主な内訳
【事業費】 委託料: 1,543千円 需用費: 69千円
【特定財源】 使用料: 3,628千円

活動指標

指標名	駐車可能台数	単位	台
指標の説明	時間貸しの駐車可能な台数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	15	15	15

参考数値
令和元年度 時間貸し 有料 10,177台 無料 8,737台
令和2年度(見込み) 使用料 3,700千円

成果指標

指標名	駐車場使用台数	単位	台
指標の説明	一年間の駐車場の使用台数(有料・無料)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	18,116	18,914	18,914

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 年間の使用台数等から市民ニーズは高いと思われ、西駐車場とは逆に有料台数が多く、市民会館・複合館などの利用者が多いと考えられ、路上駐車等の解消に役立っていると思われる。今後も、古市駅周辺における交通渋滞解消の一助として、効率的かつ適切な維持管理を行う。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	113-01-03				
事務事業名		古市駅東広場管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		都市開発部 都市計画課		連絡先	内線2571		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		項	4	都市計画費
					目	4	都市整備推進費
対象(誰を・何を)		市民及び鉄道利用者					
目的(どうしたいか)		市民の交流活動を通じた地域の賑わいを創出すると共に、古市駅へ安全安心に移動できることを目的とする。					
手段(事業内容)		古市駅東広場の安全管理及び修繕等・広場面積1300㎡					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	291	449	594
人件費	378	455	450
総事業費	669	904	1,044
うち市負担分	669	904	1,044

元年度決算主な内訳
【事業費】 需用費：449千円
【特定財源】

活動指標

指標名	広場利用件数	単位	件
指標の説明	啓発活動や地域の催事での広場の利用		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	8	10	10

成果指標

指標名	適正管理率	単位	%
指標の説明	適正な管理		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 令和元年7月に古市古墳群が世界文化遺産に登録が決定し、来訪者等の増加も考えられ、市の玄関口として来訪者や駅利用者が安全・安心に利用できるよう引き続き修繕・点検等を行い、適切な管理を行う。 平成29年度よりシルバー人材センターへの委託をやめ、広場内の観光案内所の人員にて日常清掃を行っておりコスト削減を実現している。